

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五  
藤枝市藤枝四二一七  
大慶寺 大場正昭  
Tel 〇五四-六四一-二二二九  
Fax 〇五四-六四四-六二二六

**本年度初盆経のお知らせ**

■ 7月初盆のお宅は6月中旬に

■ 8月初盆のお宅は7月初旬に

平成28年初盆経の日時を御施餓鬼案内に同封致します。また、日時でご希望がある場合は、お早めにご連絡頂ければ、できるだけ調整させて頂きます。

**6月 寺を活用した行事**

◆ 3日 おかげさん 10時～2時

◆ 5日 天下一鬪茶会 9時～15時30分

◆ 5日 cafe×マルシェ 9時～15時30分  
※鬪茶とは、日本酒の聞き酒のように、5種のお茶を飲み分け、産地を当てる競技。参加費一五〇〇円（土産付）

**アシスト募金協力者（順不同・敬称略）**

大塚善弘 増井忠 土屋恵司 杉原有  
富山友一郎 神保昌志 栗田文子 関根  
薫 西村幸三 竹内小弥太 松浦弘子  
河野孝之 高橋正樹 小野田滋 杉原繁  
司 梶田力 杉山恭子 杉山元一 杉原  
秀雄 小林忠男

別世帯の子供、お孫様等にも法話羹をお届け致します。申込は寺まで。

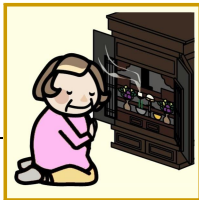
後ろ姿の合掌

檀家さんのお婆さんから「体が昔のように動かなくなつた。子供、孫に何か色々してやりたいが、思うようにならない。何かしてやることはないか」と相談を受けた。

若い時は知力、体力を使い、自分や家族のために、勉強や仕事に時間を費やす。そして年を取ると共に、体力や記憶力が衰え、つい昔の元氣だった頃と比べてしまふ。齒がゆくてしようがないのは当然だ。

さあ、それでは何もできないかというところ、そんなことはない。「体が動かなくても、記憶力が落ちても、字が読みにくくなつても、家族や自分のためにできることはある。そして、これはとても大切な事だよ」と答えた。

それは、毎朝仏壇の前に座つて、先祖に感謝し、家族の今日一日の無事を祈つて、合掌しお題目を唱えること。これは自分にとって、家族の営みに参加している自覚が生まれ、家族にとつても、おばあちゃんやんが感謝と家族の無事を祈ってくれてるといふ安心感を生



む。更にその拝む後ろ姿を、子どもや孫に見せることが大切だ。

子供の時は、遊ぶこと、勉強すること、食べることが大事。大人になれば、一生懸命働き、家族を支えることが大事。そして老いては、祈ることによつて、家族や周りの人に安心感を与え、人は生まれ、成長し、大人になり、そして、老いていくことを知らしめることが大事。これは、年配者で無ければできないこと。その役割を果たすことが大切だ。

目に見えない大きな流れの中で授かった命。互いに助け合つて生きていく命。体が動かなくなつたらおしまい、働けなくなつたらおしまいではない。「年代」で役割が違つていくだけ。だから、今の自分の役割を全うすることに集中すればいいのだ。

ただ、残念ながら、核家族同士の親子では、年配者の拝む姿の尊さが、子供や孫に伝わりにくい。これは、老いを学ぶ機会が減つたことを意味し、誰もが老いるのに、結果として、老いを考えさせる機会を奪つているのだ。勿体ない話だ。